

石中生として取り組めることは

校長 小菅 みちる

3学期がはじまってから、2週間ほどたちました。そろそろ生活のリズムも戻ってきた頃ではないでしょうか。始業式には「一年の計は元旦にあり。3学期の計は始業式にあり」という話をしました。3学期の早いうちにしっかりと目標を定め、計画を立てて実行しましょう、ということをお伝えしましたが、みなさん、順調に進んでいることと思います。

さて、11月からいよいよ学校改築に伴う既存校舎の工事がはじまりました。17日(土)と18日(日)には引っ越しを行いました。今後、現在の視聴覚室は図書室に、木工室は音楽室になります。また、これまでのパソコン室は数学少人数教室とPTA室の2つに生まれ変わります。12月にはけやきの木をバックに集合写真を撮りました。学校がちょうど変化していく大切な時期。石中生としてできることは何か、それぞれ考えてみましょう。

12月から1月にかけて、3年生は、私もしくは副校長先生、学年の先生方と進路に向けての面接をしました。その中で、将来の夢や目標、具体的にになりたい職業などを話してくれる生徒もいました。1・2年生のみなさんの中にも、「将来は〇〇になりたい」というような希望をすでにもっている生徒がいるかもしれませんね。

ところで、現代では、この先なくなってしまう職業がたくさんあると言われていることを聞いたことはありませんか。オックスフォード大学などの研究・調査によると、今後10年～20年の間で現在の約半分の仕事が消えてなくなる可能性があると言われていています。人工知能(AI)の発達によって、AIが人間に替わって仕事を行うことが理由のようです。

そうすると、なりたい仕事が無くなってしまいかも?と心配になってしまうかもしれませんね。でも、機械ではなくて、人間だからこそできる仕事が残るのだということを忘れないでください。では、人でなければできない仕事とは何でしょう。それは、人と人とのコミュニケーションが必要な仕事です。人と人との会話、コミュニケーションこそが人間の原点。これからの社会では、コミュニケーションが今まで以上に大切になってくるのです。

コミュニケーションの基本はなんでしょう…?はい、そうです。あいさつです。あいさつをしっかりすることです。あいさつって、言われて気持ちがよいかか礼儀正しいとか、そういうことだけではなくて、将来の自分に、そして日本に、非常に必要で欠かせない重要なことなのだと、改めて思います。

時代は刻一刻と変化しています。変化の激しい社会の中で、自分がどう生きていくのか、社会と自分がどう関わっていくのかが問われる時代なのです。小さな社会である学校も、いま様々な面で変わりつつあります。その中で、石中生として取り組めることは何なのか。色々なことが考えられるとは思いますが、まずはみんなであいさつからはじめてみようではありませんか!! (参考までに、先の調査などから、創造する力も大切だとのことでした)

.....きりとり.....

学校だより 1月号 感想などありましたらお書きください。お名前を伏せて掲載させていただくことができます。

年 組 生徒氏名 _____

【学校だより 12月号 保護者感想など】

何人かの保護者の方からコメント等いただきました。ありがとうございました！！

○2学期も残すところ1週間ほどになりました。今学期は大きな行事が多く、大変だったようですが、本人にとってはとても充実した学期であったと感じます。合同発表会や野辺山移動教室など、皆で協力する行事を通し、今まであまりはなせていなかった先輩や、クラスの子たちと親しく話せるようになったそうです。3学期の社会科見学も準備段階からとても楽しみにしており、班のメンバーとも盛り上がっているとのことで、こちらも話を聞いていて嬉しいです。

→【校長より】学校は、教科の学習はもちろんですが、行事を含め日々の様々な活動にも大きな学びがあります。お子さまがそれを肌で感じてくれているようで、大変うれしいです。このようにコメントいただき、学年の教員も大変励みになります。ありがとうございました。今後も、こどもたちのために力を尽くします！

校内書初め展がはじまりました

1月13日（火）校内書初め展が始まりました。廊下に書初め作品を展示しています。生徒の皆さんの力作を展示しています。

<課題内容>

- 1年生 楷書「成功の暁」 行書「平和祈念」
- 2年生 楷書「友情を誓う」 行書「光輝を放つ」
- 3年生 楷書「雄大な自然」 行書「生命の尊重」

ご来校の際や、2月の学校公開週間の教科作品展（2月7日～2月14日 ※8日を除く）でどうぞご覧ください。どうぞよろしくお願いいたします。



学校公開・防災訓練を行いました

12月6日（土）に学校公開と防災訓練がおこなわれました。1校時の学校公開のあと、各クラスで「大規模災害が起こったときに何をするか、どう避難するか」について話し合いをしました。2校時は各クラスで「大規模災害が起こったときに何をするか、どう避難するか」について話し合いました。3校時には地震を想定した避難訓練を行ったあと、緊急電話設置、初期消火、防災設備の運搬・設置、車椅子体験等の活動を行いました。「訓練は本番、本番は訓練」という校長先生の言葉とおり、どの班も真剣に訓練に取り組んでいました。今回の貴重な経験が、自助・共助につながっていくといいと思います。



KFC プロジェクト

花いっぱいプロジェクト

先日、300個近くのチューリップやムスカリの球根をいただきました。KFC プロジェクトでは、来年3月の卒業式に向けて「花いっぱいプロジェクト」を立ち上げました。

12月23日（火）に1・2年生のボランティア生徒が校庭の花壇に球根を植えてくれました。

その後もボランティア生徒がチームになって定期的に花壇の水やりをしてくれています。みんなでたくさんの花を咲かせ、すてきな卒業式になればと思います。



◆ボランティア参加生徒

<1年生> 2名

<2年生> 27名

石中タイム「全校レク」 大成功！！

12月19日（金）に全校レクをおこないました。各学年B組対C組で戦う「王様ドッジボール」と、全校生徒が混ざって上位50人を競う「だるまさんが転んだ」の2種目を行いました。

学年やクラスの枠を超え、全校が一緒になって体を動かすこの「石中タイム」は石中の伝統として健康の促進を目的として行われてきた大切な行事です。これまでは先生方が中心で行っていたのですが、今年度から生徒会、中央委員会が中心になって行うことになりました。もうすぐお別れとなってしまうけやきの木も、長い間学校を見守ってきた存在として、「けやきの子」である皆さんの全力で楽しんでいる姿を静かに見守ってくれているように感じました。

この全校レクの種目やルールは、中央委員会の生徒たちがこの日のために放課後集まって考えてくれました。事前の準備や役割分担、当日の進行まで責任をもって取り組んでくれたおかげで生徒全員の思い出に残る活動をすることができ、仲間と関わり合いながら一丸となって楽しむことの大切さを学んだ、心に残る一日となりました。



また、石川台中学校のシンボルとして親しまれてきたけやきの木が、校舎改築に伴い伐採されることになったので、12月8日（月）に、けやきの木を背景にした学年ごとの記念写真の撮影が行われました。

けやきの木の伐採への名残惜しさよりも「今のけやきの木と一緒に思い出を残そう！」という明るい雰囲気の中で撮影が行われました。紅葉し大きく枝を広げたけやきを背景に並ぶと、いつも見てきた風景の中で自然と笑顔があふれ、温かい時間になりました。この日撮影した写真は、石川台中学校で過ごした日々を象徴する大切な一枚になりました。新しい校舎へ変わっても、けやきの木との思い出は生徒の心の中に残り続けるでしょう。

★学校改築ニュース★

学校改築に向けての工事が進んでいます。1月17日、18日に引越しが行われ、音楽室が2階の旧木工室に、図書室が1階の旧視聴覚室に、PTA室が3階のパソコン室の隣に新設したPTA室にそれぞれ移転しました。

今後は移転した旧教室やプール、校庭の体育倉庫等の解体工事が始まります。

移転した図書室（旧視聴覚室）

